



MAR, 2026 | VOL.112

ARMY

Active Reliance Morale Yearning

陸上自衛隊 部内広報誌

TOP

POTY / MOTY 2025

陸上自衛隊 写真・動画コンテスト

秋田県クマ対策支援活動
林野火災に伴う災害派遣

Landpower Forum in Japan
空挺降下訓練始め・多国間空挺演習
共同訓練

ライジング・サンダー 25 / マングスタ 25 / ヴィジランド・アイルズ 25 / ノース・ウィンド 26
令和7年度自衛隊音楽まつり
etc.

目次



POTY / MOTY 2025 陸自写真・動画コンテスト



秋田県クマ対策支援活動 林野火災に伴う災害派遣



空挺降下訓練始め 多国間空挺演習



共同訓練

ライジング・サンダー 25
マングスタ 25
ヴィジランド・アイルズ 25
ノース・ウィンド 26



令和7年度自衛隊音楽まつり



陸上幕僚長の活動

ARMY
Vol.112



ランド・フォーシーズ・サミット

令和7年12月18日、荒井陸上幕僚長は、米太平洋陸軍、米太平洋海兵隊、豪陸軍、フィリピン陸軍、フィリピン海兵隊、マレーシア陸軍及びインド陸軍の司令官・参謀長等を招待してランド・フォーシーズ・サミット（LFS:Land Forces Summit）2025を開催しました。

戦略環境について意見交換し、インド太平洋地域の平和と安定のための多国間連携の重要性について認識を共有しました。



自衛隊中央病院現況把握

令和7年12月19日、荒井陸上幕僚長は、自衛隊中央病院の現況把握及び入院中の陸上自衛隊員への患者慰問を行いました。

現況把握では、自衛隊中央病院長から各種事態等への備え及び衛生機能強化に係る取り組みについて説明を受けるとともに、病院内を視察し、診療・教育機能の強化の状況を確認しました。患者慰問においては、入院中の陸上自衛隊員一人一人を激励しました。



トルコ陸軍司令官公式招待

令和8年1月9日～11日、荒井陸上幕僚長は、トルコ陸軍司令官トケル陸軍大将を公式招待しました。トルコ陸軍司令官の訪日は、2019年以来6年振りです。懇談において、現在の戦略環境認識を共有し、今後の日トルコ陸軍種間協力の方向性について率直な意見交換を行いました。

また、第1空挺団を訪問するとともに、降下訓練始めを視察し、今後、空挺分野での交流を促進することで一致しました。

令和7年度 陸上自衛隊写真コンテスト

Photo Of The Year 2025



【Photo Of The Yearとは】

- 隊員の撮影技術の向上、士気高揚を目的として、毎年実施
- 応募作品は、陸自パンフレットやカレンダー等、広報活動に活用
- 陸幕長、一般投票（SNS）及び部外審査員により審査
- 今年度は応募672作品（パンフレット253作品、カレンダー419作品）の中から15作品が受賞
- テーマは「陸上自衛隊、強さの裏側」・「陸上自衛隊、強さの本質」の2つで作品を募集

パンフレット部門

陸幕長賞

「沈黙の番人」

北海道補給処
2等陸曹 氣田温



撮影者コメント

将来一人前の自衛官になる為には通過しなければならない「陸曹候補生課程」履修前教育総合訓練での終盤、疲労が限界でも警戒を続ける「凜」とした姿勢から、任務完遂への強い意志と仲間を思いやる表情を捉えた1枚。厳しい訓練も同期・仲間とともに乗り越えていく。

審査員コメント（宮島 茂樹）

コントラストを極端に上げ、油絵的芸術性を狙った作画と察するが少しも不自然さを感じさせない。身を隠す白樺の木に地元北海道愛も垣間見える。しかし何より驚いたのはその白樺と小銃銃剣が対角線に位置し、その間からドーランに隠れたまだ幼き表情を見せる構図である。まるで近代写真の父と言われたA・スティーグリッツの代表作「三等船室」を思いおこさせる。それを意識して撮ったのなら恐るべき手練れである。しかし、今は21世紀、ワシならボディーから離れたストロボの光源を銃剣に反射させる・・・なんて小細工もやってみたい。



優秀賞
（SNS）

「スパークする門出」

第10通信大隊
3等陸曹 大迫央



優秀賞
（審査員）

「いざ降下」

第1空挺団
1等陸曹 神博崇

カレンダー部門(春)

陸幕長賞

「雲海を貫く翼」

西部方面航空隊
1等陸曹 高岸大勝

撮影者コメント

空を並んで飛ぶ姿がとても綺麗で、迫力と美しさを感じた一瞬を映した写真です。



審査員コメント (福田 正紀)

見事な編隊で雲海の上を飛ぶ、CH-47の勇姿です。この作品の素晴らしい点は、何よりも被写体であるCH-47の姿を非常にシャープに写し撮っている点です。ヘリの撮影時に、ローターが止まって写る事を嫌いスローシャッターで撮影しがちですが、スローシャッターでは手ブレ、被写体ブレが発生する可能性が高まります。高岸1曹はこの作品を1/350のシャッター速度で撮影されました。プロの目から見ても、ギリギリブレない安全圏のシャッター速度だと思います。被写体を限りなくシャープに写しとめた高岸1曹と、見事な編隊飛行を見せる航空隊、両者による見事な作品です。

優秀賞

(SNS)

「旅立ち」

幹部候補生学校
2等陸曹 荒巻阿美



優秀賞

(審査員)

「響春 この道の先に」

第32普通科連隊
2等陸曹 木村映日



カレンダー部門(夏)

陸幕長賞

「旭日の大海へ、いざ出陣」

システム通信団
1等陸曹 田中辰夫

撮影者コメント

日本の島嶼部を防衛の要、水陸機動団戦闘上陸大隊。輸送艦おおすみハッチが開き、海上自衛隊を象徴する朝日(旭日)の光が差し込む。光輝く大海へ波飛沫を上げ出撃するAAV7の姿は、まさに日本の盾そのものである。日本の領土を守るため、任務に邁進する隊員たちの情熱が伝わる写真

審査員コメント (小見 哲彦)

半逆光の旭日の中、輸送艦後部から海上に飛び出してゆくAAV7の勇姿。手前車体のディテール描写は立体感に富み、海上で飛び散るしぶきも白飛びギリギリで抑えた露出設定は秀逸でした。シャッタースピードもこの場面でのシャープな「止め」において最良の選択でしょう。お預かりした画像フォルダーの優秀な作品群の中にあって、アイコンチェックの初期段階でさえ完成度の高さが目立っていた作品でした。上記のように黒つぶれと白飛びギリギリの境界線を突いた露出設定と、発進していくAAV7の動きを負いながらもきっちり水平の取れた優れたカメラワーク。シャッタータイミングも文句無しです。個人的な話ですが津軽海峡や九州の海をシーカヤックで旅していた時に見ていた大海の色＝青黒い色調＝が海の深さと厳しさも感じさせてくれて一層印象的でした。

優秀賞

(SNS)

「視線の先」

第5旅団司令部付隊
2等陸曹 志賀竜一



優秀賞

(審査員)

「進撃開始」

第11旅団司令部付隊
1等陸曹 永武保則





カレンダー部門(秋)

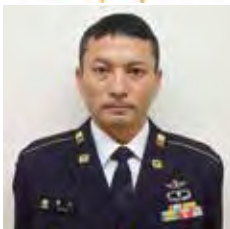
陸幕長賞

「不屈の精神」

第1空挺団
1等陸曹 青木巨

撮影者コメント

空挺団の隊員が富士山麓を長距離接敵機動している写真です。錯雑した林内を抜け出る隊列と様々な緑の色が写るように撮影し、行動間で汚れた戦闘服と周囲の植生とのコントラストで過酷さと強靭な意志を表現してみました。



審査員コメント (福田 正紀)

第1空挺団の訓練のワンシーンだと推測します。山中での訓練は、昼間でも薄暗く写真撮影には不向きな条件が多いと思います。青木1曹は高感度撮影に強いデジタルカメラの特性をうまく使い、昼間撮影でもISO感度を3600に設定し、比較的速いシャッター速度で徒歩機動する隊員をブラさずシャープに写し止めました。望遠レンズの使い方も巧みで、静かな中に緊張感を感じられる秀作です。今後も使用するデジタルカメラの性能を生かし、より一層撮影に精進していただきたいと思います。青木1曹のさらなる伸び代を感じられる作品です。

優秀賞
(SNS)

「実りの秋、笑顔満開！」

東部方面混成団
3等陸曹 竹井彩



優秀賞
(審査員)

「戦場にかかる虹」

第6師団司令部付隊
1等陸曹 小関豪



カレンダー部門(冬)

陸幕長賞

「太陽を背に」

第14施設群
陸曹長 水島直樹

撮影者コメント

厳寒の自然と向き合いながら団結と信頼を力に変えて静かな闘志と高度な練度を背負い、白銀の大地を踏み締め隊形を崩さず前進する。昇る朝日を背に、必ず任務を成し遂げるという静かな決意が雪原に力強く刻まれていく無言のフィルム。



審査員コメント (菊池 雅之)

まず夕陽を背にして黙々と進む隊列に目を引きました。そしてしっかりと見てみると、美しさとともに、厳しい気候の中で訓練を行う厳しさが読み取れました。撮影者の手前にいる隊員をフレームの端に配置し、太陽を中央に、そしてその下には後続の隊員たちを入れ込むなど、無駄のない画面構成も良かったです。このような写真となったのもカメラマンがしっかりと構図を決め、待ち構えてシャッターを切ったからです。そうした努力も垣間見える作品でした。



優秀賞
(SNS)

「目標奪取」

北部方面航空隊
2等陸曹 樋口幸



優秀賞
(審査員)

「北のGF」

北部方面混成団
1等陸曹 神戸一宏





入選作品紹介

多数の応募ありがとうございました！
惜しくも受賞にはいたらなかったものの、
部外審査員から高く評価された作品を紹介します！



入選隊員紹介

① 秋元 康佑	3 曹	(シ通団)	⑧ 荒川 裕人	3 曹	(6通大)
② 岩田 かおり	2 曹	(ヘリ団)	⑨ 武田 秀昭	2 曹	(12旅付隊)
③ 梅木 大	1 曹	(空挺団)	⑩ 福永 涼	2 曹	(西方航空隊)
④ 大石 豊明	2 曹	(19普連)	⑪ 矢瀬 孝洋	2 曹	(11通)
⑤ 平野 秀之	2 曹	(4高特大)	⑫ 古見 宗一郎	1 曹	(1師付隊)
⑥ 大蔵 浩二	曹長	(10師付隊)	⑬ 水野 良彦	2 曹	(11偵)
⑦ 山田 亮	2 曹	(6師付隊)	⑭ 氏家 一輝	3 曹	(ヘリ団)

POTY2025 ご協力いただいた 部外審査員の皆様



写真家・報道カメラマン
宮島 茂樹



軍事フォトジャーナリスト
菊池 雅之



週刊新潮専属カメラマン
福田 正紀



写真家
小見 哲彦

ご協力ありがとうございました！

令和7年度 陸上自衛隊動画コンテスト



Movie Of The Year 2025

【Movie Of The Yearとは】

- 隊員の映像技術の向上・士気高揚を目的として、2023年度から開始
- 今年度は1分間のショート動画作品を募集
- 応募17作品の中から3作品が受賞
- テーマは「陸上自衛隊、強さの裏側」で作品を募集

陸幕長賞

「たたかいのかたち」

第9通信大隊
3等陸曹 岡本 陽記



制作者コメント

人と人との繋がりが少しずつ希薄になっている現代ですが、だからこそ、どんな時代になってもかわらない【人の想い】を四季の移ろいに合わせ、映像という形で静かに紡いでいきたいと考えました。観る方それぞれが自分にとっての強さとは何か、何を受け継ぎたいかを感じとっていただければと思います。

審査員コメント (藤原 佐知子)

映像表現、音楽、編集、文字の入れ方のいずれにおいても完成度が高く、全体として非常にバランスの取れた内容だと感じました。映像と音楽の相性も良く、テンポよく構成されているため、最後まで自然に視聴できる仕上がりになっています。文字情報も見やすく、映像の内容を理解するうえで効果的に使われていると思います。一点だけ気になった点としては、映像の途中で挿入されている師団のロゴです。演出としての意図は理解できますが、映像の流れを考えると、ロゴは最後のみに入れる方が、よりすっきりとした印象になるのではないかと感じました。全体としては、目的に沿った分かりやすい映像であり、提出用として十分にふさわしい内容であると思います。

「INSIDE FRONT LINE」

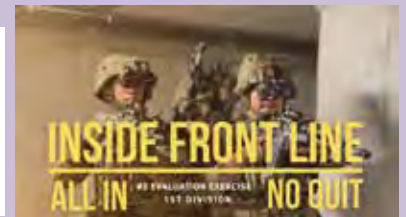
第1師団司令部付隊
1等陸曹 古見 宗一郎



優秀賞 (SNS)

制作者コメント

映画のワンシーンのような緊張感だが、これは演出ではない現実を想定した最前線第1師団訓練検閲の市街地訓練、躍動する隊員のリアルを1分に凝縮最前線のリアルを体感せよ。



審査員コメント (西見 茂雄)

この度のテーマ「陸上自衛隊、強さの裏側」に相応しく、シチュエーション、緊迫感、一人一人の緊張感、そして「強さ」を体現して行くための「裏側=下準備」が画面から強く伝わるととても素晴らしい映像だと感じました。普段一般国民が見ることのない緊迫感溢れる情景、並びに隊員一人一人の表情も上手く捉えた映像構成は訓練と分かっている側にも緊張感を与え、文字通り「強さの裏側」を表現するものであったと思います。

優秀賞 (審査員)

「CONNECT」

第1通信大隊
2等陸曹 吉原 純平



制作者コメント

システム通信網の構成、維持は自衛隊のあらゆる行動に必須ですが、それを任務とする部隊が表に出る事はほぼありません。自衛隊の強さを、人知れず裏から支える彼らの戦いをご覧ください。



審査員コメント (藤原 佐知子)

最初の映像とナレーションの声をもう少し工夫すると、さらにかっこいい映像になると感じました。全体の雰囲気がとても良い分、冒頭でもう一段引き込めると、より印象に残ると思います。映像の色合いと英語のテロップ、音楽の組み合わせがとても合っていて、全体を通してテンポよく、見ていて飽きない構成でした。スタイリッシュで統一感があり、最後まで自然に視聴できる映像だと感じました。



入選作品紹介

多数の応募ありがとうございました！
惜しくも受賞にはいたらなかったものの、
部外審査員から高く評価された作品を紹介します！



「執念」

第6通信大隊
平間 3 曹



「強さの裏側

-守る覚悟と家族の絆-

第8通信大隊
勝田 3 曹



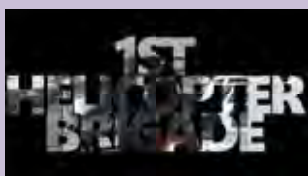
「日本を防衛せよ」

第11通信隊
山崎 1 曹



「進化と深化
～護るべきもの～」

第3通信大隊
矢頭 3 曹



「揺るがない意志が、
私たちを強くする」

第1ヘリコプター団
福田 2 曹



「夏夜に灯る笑顔」

第1空挺団
長野 2 曹



「音の架け橋」

第5旅団司令部付隊
志賀 2 曹

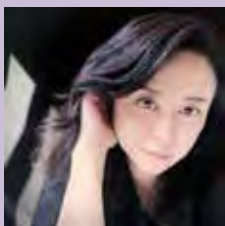


「受け継がれる強さ」

兵庫地方協力本部
大金 3 曹

MOTY2025 ご協力いただいた

部外審査員の皆様



フリー映像作家
藤原 佐知子



(株)FMXクリエイティブD
西見 茂雄

ご協力ありがとうございました！

POTY / MOTY 2026 計画中！

応募テーマ・応募規定は令和8年4月頃発表予定。詳細は、最寄りの広報室でご確認ください

あなたの作品が、陸自の魅力を伝える力になります



秋田県民の安心・安全に寄与

陸上自衛隊は、令和7年11月5日～30日にかけて、秋田県から緊急要望のあったクマ対策支援活動を実施しました。

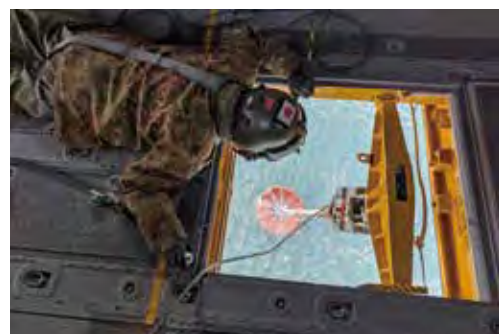
秋田県の12市町村において、第21普通科連隊等の隊員が箱わなの運搬、駆除後のクマの輸送支援、情報収集などを行い地域の方の安心・安全に寄与しました。



秋田県クマ対策支援活動



林野火災に伴う災害派遣



続発する林野火災に対応

陸上自衛隊は、令和7年12月～令和8年1月にかけて、群馬県、神奈川県、山梨県、静岡県、宮崎県で続発した林野火災に対し、第1ヘリコプター団、方面航空隊等、各地の航空科部隊による空中消火活動等を実施して林野火災の鎮圧に寄与しました。





Landpower Forum in Japan

ランドパワー・フォーラム・イン・ジャパン

Landpower opportunities to provide peace and stability in the Indo-Pacific region

インド太平洋地域の平和と安定のためのランドパワーの可能性



令和7年12月17日・18日、陸上自衛隊は、「Landpower opportunities to provide peace and stability in the Indo-Pacific region（インド太平洋地域の平和と安定のためのランドパワーの可能性）」をテーマにLandpower Forum in Japanを東京ドームシティ・プリズムホールで実施しました。

荒井陸上幕僚長をはじめとする自衛官、同盟国・同志国現役軍人、有識者等による基調講演・パネルディスカッションや「各種無人機、A I」等に関連する企業展示・装備品展示等が行われました。

本事業を通じ、ランドパワーの可能性について同盟国・同志国及び産学官のそれぞれの立場の知見を共有することで、同盟国・同志国との連携強化、産学官の連携強化を図ることができました。



空挺降下訓練始め・多国間空挺演習



空挺降下訓練始め

令和8年1月11日、陸上自衛隊第1空挺団は、習志野駐屯地及び同訓練場において、14カ国の空挺部隊と共に令和8年空挺降下訓練始めを実施しました。



多国間空挺演習

令和8年1月13日～20日、空挺降下訓練始めに引き続き国内で初となる多国間による空挺演習を実施し、日米英3か国による空挺作戦能力の向上を図ると共に、部隊間の信頼関係を強化しました。

陸上自衛隊は、同盟国・同志国との信頼関係をさらに深化させ、「自由で開かれたインド太平洋」の実現のため、我が国の平和と安全の確保、国際社会における信頼と協力の深化に貢献して参ります。





Rising Thunder 25

令和7年度米国における米陸軍との実動訓練
(7.10.27~7.11.12)



Vigilant Isles 25

令和7年度英陸軍との実動訓練
(7.11.5~7.11.20)



Mangusta25

令和7年度イタリア陸軍主催多国間空挺演習(7.11.7~7.11.28)



North Wind 26

令和7年度米陸軍との実動訓練
(8.1.22~8.2.2)

令和7年度優秀隊員招待行事



陸上幕僚長主催の令和7年度優秀隊員招待行事（顕彰式）が令和7年11月13日に東京の明治記念館で行われました。平素より業務に寄与した隊員、訓練・災害派遣などに貢献した隊員、特に顕著な功績を上げた隊員とその同伴者35組が招待され、陸上幕僚長から顕彰状および顕彰盾が授与されました。

この優秀隊員招待行事は、陸上自衛隊員の士気を高揚させることを目的に毎年行っており、今回で56回目です。

優秀隊員

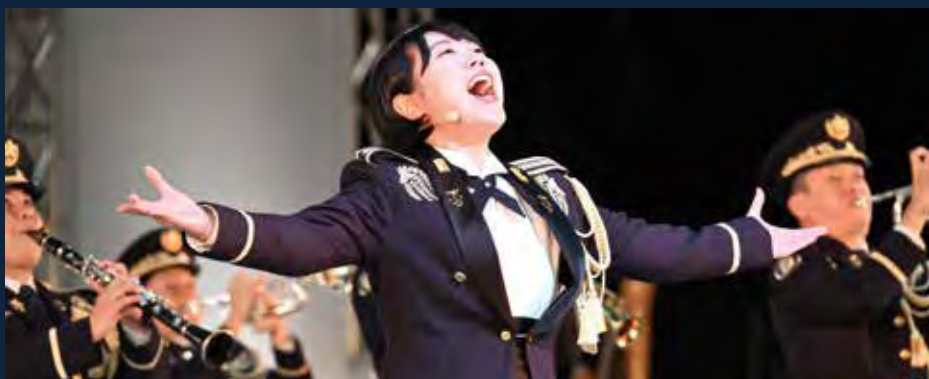
佐藤 誠	曹長（空挺団）
藤澤 知代	2曹（陸上総隊付隊）
小村 正紀	准尉（25普連）
畑中 竜一	准尉（27普連）
佐々木 孝征	1曹（北方シ通群）
有澤 優	准尉（120教育大隊）
勝谷 繁盛	准尉（北方情報隊）
岩見 匡洋	准尉（2施団付隊）
伊藤 哲也	准尉（2曹教）
阪田 幹夫	准尉（32普連）
中原 泉	准尉（1普連）
青木 賢一	曹長（東方CTS）
八原 誠	准尉（4曹教）
稲垣 史人	准尉（10師付隊）
西俣 隆行	准尉（中方特連）
兼中 孔士	曹長（17普連）
比護 敏雄	1曹（14普連）
田中 裕二	准尉（奄美警備隊）
武田 省吾	准尉（16普連）
濱田 喜和	准尉（福岡地本）
梁池 比呂志	1曹（8飛）
渡邊 正規	准尉（教研本）
梶木 真凜	2曹（体育学校）
西浦 希和	技官（鹿追業務隊）
佐々木 三智也	技官（東北補給処）
黒田 圭	技官（関東補給処）
續木 孝二	技官（千僧業務隊）
中武 賢太郎	技官（那覇業務隊）
諸井 久人	技官（小平学校）
大橋 諒平	技官（化学学校）
菊谷 真琴	即応予備曹長（52普連）
田澤 一月	即応予備1曹（38普連）
岡山 和弘	即応予備2曹（49普連）
安藤 博之	予備曹長（静岡地本）
這越 真浩	予備曹長（長崎地本）

ウクライナ傷病軍人への治療に対する勲章授与



令和8年1月14日、自衛隊中央病院においてウクライナ傷病軍人のリハビリテーション等
に貢献した自衛隊中央病院の現職及びOB職員8名に対して、ウクライナ駐日大使から「ウ
クライナの防衛支援に関する勲章」を授与されました。

自衛隊中央病院は、これまで11名のウクライナ傷病軍人に対し、義足の提供やリハビリ
テーションを行ってきました。



令和7年度自衛隊音楽まつり

JAPAN SELF-DEFENSE FORCES MARCHING FESTIVAL 2025

防衛省・自衛隊は、令和7年11月13日～15日、日本武道館において、令和7年度自衛隊音楽まつりを実施しました。今年は『次へ。今を超えて、ともに先へ』をテーマに、

「自衛隊と国民で次へ進む、跳躍する、挑む。」といった国民を後押しする思いを込め、観客の皆さまに勇気や希望を感じてもらい、「次へ」と進むためのきっかけの場となるよう出演部隊が盛大に演奏しました。

本音楽まつりには、自衛隊から陸海空セントラルバンド、西部方面音楽隊、防衛大学校儀仗隊、第302保安警務中隊、高等工科大学校ドリル部、自衛太鼓、師団らっば隊及び演技支援隊が、ゲストバンドとして米海兵隊第3海兵機動展開部隊音楽隊が参加しました。



国際連合平和維持活動



UNMISS

陸上自衛隊は、4名の陸上自衛官（菊地3佐（派遣中）、岩崎3佐（派遣中）、安積3佐（派遣準備中）、中村3佐（派遣準備中））を派遣して、南スーダンの和平プロセスの進展を国際社会と共に支援しています。

菊地3佐は施設幕僚として南スーダンの幹線道路の維持補修に関する管理に、岩崎3佐は情報幕僚として必要とする情報の収集整理にそれぞれ従事しています。

派遣準備中の安積3佐は兵站幕僚として活動に関する後方支援業務に、中村3佐は航空運用幕僚として航空機の運航管理に、それぞれ従事予定であり、UNMISSの活動を支えています。

陸上自衛隊最先任上級曹長の活動

部隊現況把握

隊員との意見交換、勤務環境及び生活環境の現地確認（隊員激励）を通じ、部隊及び隊員の状況を把握しています。引き続き様々な活動を通じて、陸上自衛隊の更なる強靱化に努めます。



第15ヘリコプター隊



宮古島駐屯地



別海駐屯地



鹿追駐屯地



与那国駐屯地

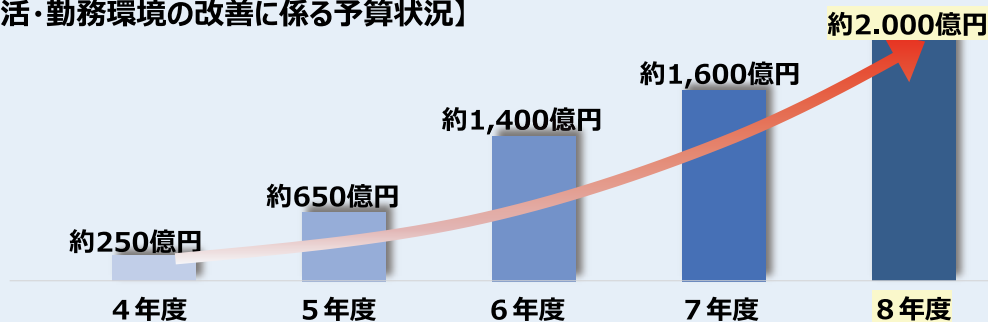


石垣駐屯地

生活・勤務環境の改善・魅力化

令和8年度も、さらに生活・勤務環境の改善・魅力化を進め、
働きがい（働きやすさ×やりがい）のある職場を作っていきます。

【生活・勤務環境の改善に係る予算状況】



担当者必見

Topic①

施設管理能力強化

隊舎、倉庫等の整備、空調機、水回り設備等の改善を進めるには、**業務隊管理科営繕班等の力と業務処理に必要な資器材が必要！**

役務契約で専門の人員を増やしたり、必要な資器材等をリース契約することにより、施設管理業務の遂行能力を強化しています。

～役務契約による専門の人員の増員～



製図等作成補助員

建物の設計や製図の業務を支援



ボイラー運転監視要員

駐屯地の空調の24時間運転を支援

～必要器材等のリース契約～



設計・製図業務に必要な大型モニタ、レーザープリンター、コピー機等

全隊員必見

Topic②

勤務環境改善

日頃業務を行う場所となる事務所等も**働きやすく居心地の良い職場**となるよう逐次、改善していきます。

東方總監部募集課



オフィス改革



フリースペースも

中方總監部防衛課



プロジェクトスペース

ステップフロア



善通寺倉庫教場

内装改修

フロアカーペット

Seikin総合パンフレット



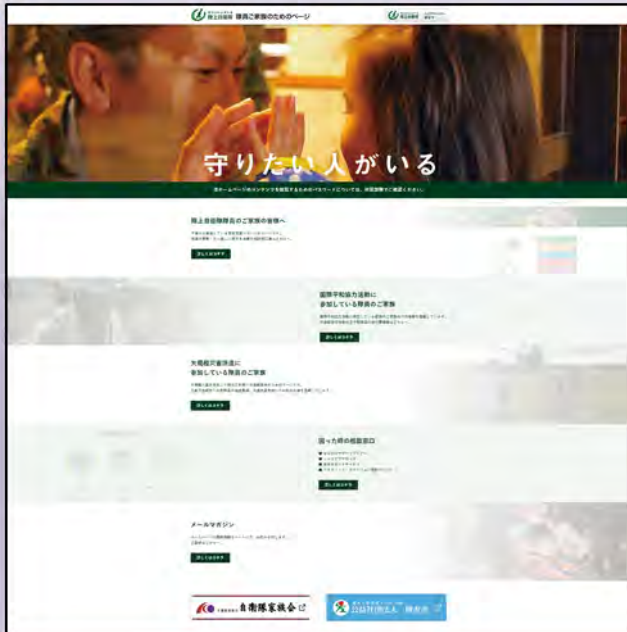
令和8年度パンフも
陸幕人事教育部HP上に
アップされるよ！





隊員家族向けホームページについて

隊員家族が必要な情報を輕易に収集できるよう、各システムに分散した情報を集約・整理し、部外系陸上自衛隊ホームページ上に**隊員家族向けホームページ「隊員ご家族のためのページ」**を開設し運営しています。



ホームページの内容は下記になります

- ・ 陸上自衛隊隊員のご家族の皆さまへ(異動サポートガイド)
- ・ 国際平和協力活動に参加している隊員のご家族
- ・ 大規模災害派遣に参加している隊員のご家族
- ・ 困った時の相談窓口



【異動サポートガイド】



【困った時の相談窓口】

閲覧には**パスワード**が必要です。

パスワードは隊員又は所属部隊にご確認
お願いします。

(パスワードは、中央ポータルサイト陸上幕僚監部
人事教育部厚生課家族支援班のページに記載)



平和を、仕事にする。
陸海空自衛隊員

後輩は自らの手で！！ 隊員自主募集 ご協力をお願い

いつも多くの自主募集情報ありがとうございます。

昨年度の入隊者のうち、
自主募集情報からの入隊者は

約30%

いるんです！！



▼ 隊員自主募集の流れ

① 隊員による広報と募集対象者情報の取得

隊員自主募集情報通知書

興味・関心を持った方がいる場合は、**必ず本人の同意を得た後、隊員自主募集情報を取得してください。**



② 各部隊担当者等は、部隊等長の確認を受けた後、担当地本へ「隊員自主募集通知書」を送付

隊員自主募集情報通知書

情報を記載した隊員自主募集情報通知書は、各部隊等の長の確認を受けた後、各部隊担当者等により速やかに現住所を担当する地本へ送付してください。
(対象者の希望する地本にも送付可能)

▼ 自主募集情報の取得について

【マニュアル参照先】

業務システム 中央ポータルサイト▶陸上幕僚監部トップ画面

▶人事教育部募集・援護課サイトトップ▶隊員自主募集アイテム

▶【NEW】R7一般隊員向け隊員自主募集ガイドライン

一般隊員向け隊員自主募集ガイドラインの他、大学生・高校生との向き合い方マニュアル等を収納



■ 自衛官募集公式

Youtubeチャンネル



【陸上自衛隊オフィスツアー】



【陸自募集CM】

陸自の募集広報動画「陸自募集CM」、
「陸上自衛隊オフィスツアー」、やす子さん
とコラボした陸自ロゴ作成動画など、自衛官
としての職業の魅力を紹介する多数の動
画を掲載しています！

VOL.112

JGSDF Internal PR Magazine

ARMY

Active Reliance Morale Yearning

